

和歌山への私の提言

—ようこそ、“元気”な和歌山へ

教育学部 総合教育課程 文化研究プログラム 07632044 李 学東

和歌山大学に入学したきっかけで、私は和歌山のことに對して、興味を持つようになった。今までの経験を通じ、自分の生まれた町との比較したうえで、私は、和歌山のまちづくりについて、自分なりの意見を持つようになった。

和歌山県は、すばらしい歴史・文化資産は、世界遺産に登録された。また、温暖な気候と豊かな自然は、山、川、海の恵みを生み、多くの観光資源や物産を育てている。これらは、私の実家—青島によく似ており、非常に住みやすい町であると思う。

これから、自分の目で見つけた和歌山の魅力について、歴史の建造物、自然、温泉の三つの部分に分け、述べたいと思う。

歴史の建造物—和歌山城

和歌山城は最も代表的な歴史建造物として、よく知られている。そして、重要な文化財として、今まで、残されてきたのがすばらしいと思う。和歌山の和歌山城とほぼ同じのよ



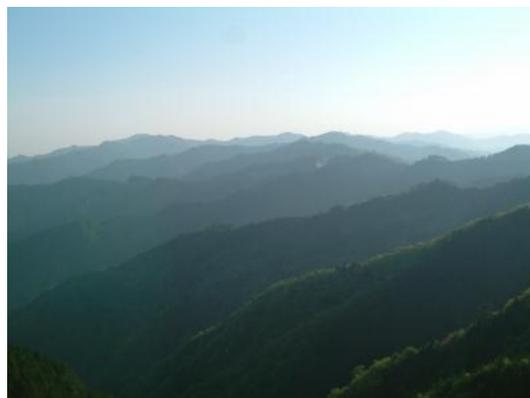
うに、20世紀の前半ごろ、私の実家—青島はドイツに支配されており、そのとき作られた建築も今まで大分保存されてきた。これらの建造物を通して、昔の歴史を振り返ることもできるし、観光産業などの第三産業を興すこともできると言えるだろう。

自然—高野山

海拔千メートルの高原に位置する、世界遺産としての高野山は、和歌山の代表的な旅行場所である。高野山の空気に触れたことがある人から「目に見えない何かに包まれている」、「心が洗われる」、「何度来ても新しい」などという話がよく聞かれている。高野山はどこまでも奥深く、神々の姿を隠すかのような神秘感を感じさせる。確かに、高野山は和歌山での自慢することができる場所であると私はそう思う。

温泉—白浜温泉

青い海を見渡せる温泉、深い山々に囲まれた温泉と、和歌山は温泉の宝庫であると言われている。豊かな自然から湧き出る和歌山の温泉は和歌山もうひとつすばらしいことであると私は考える。特に、白浜温泉一番有名だと思う。新入生合宿のとき、白浜温泉に行った。今まで、白浜の魅力はあたまの中に刻んで、忘れられない。



以上で、和歌山に関する魅力をアピールしたのが、次に、和歌山を再び発展させるため、あるいは、まだ不十分なところを改善するためには、自分の意見を話したいと思う。

一つは、中国と比べると、今の日本では、これから団塊の世代が退職され高齢者が多くなっており、高齢化社会が進んでいる。



特に、和歌山では高齢者のための施設や設備が十分ではなく、大阪に比べると介護のレベルは非常に低いと指摘されている。私は、高齢者の介護の問題は、県政の最重要課題の一つであると考えます。まちづくりの一つとして、高齢者が元気で生き生きと暮らしていけるよう、壮年期からの健康づくりや介護予防に積極的に取り組み、地域全体で高齢者を支えるケア体制の整備を進めるとともに、介護サービスの基盤整備に努めてほしい。そして、高齢者が地域社会の担い手として、豊富な知識・経験・技術を活かし、生きがいを持って参画できる環境づくりや健康で自立した生活が送れるよう介護予防を推進するとともに、たとえ介護や支援が必要になっても、地域で暮らせるよう、地域で支え合う体制づくりや介護サービスの質の向上・充実を推進することが望ましい。

もう一つは、やはり交通手段の向上である。授業のとき、何回も和歌山交通不便の話聞いた。確かに、和歌山は大阪ほど交通手段が普及されていないのである。交通のインフラストラクチャーがきちんとできているようになったら、本当に住みやすいと言えるだろう。

とりあえず、和歌山に生活する人たちに和歌山に対するアイデンティティを意識させ、高めるのは今の急務である。

和歌山は優れた地理位置が立ち、豊かな資源と自然環境に恵まれているので、町なりのやり方に取り組むべきだと私は考える。